

たいし社協だより

忘れない
伝えよう



12月3日(土)、太子町保健福祉会館中庭において「阪神淡路大震災1.17のつどい」に使用される竹灯ろう作りを行いました。参加された皆さんは、ボランティアに「こうしたら力を入れずに切れるよ。」とアドバイスを受けながら、長い竹を適度な長さに切り分けていきました。その後、竹筒に追悼や復興のメッセージを記入し、子どもたちが色をつけてくれました。

今月の社協だよりは…

- ☆1.17のつどい竹灯ろう作り……………1
- ☆新年あいさつ……………2
- ☆共同募金お礼・歳末募金事業……………3
- ☆福祉体験・被災地報告……………4
- ☆婦人共励会・親の会……………5
- ☆ボランティア・子育て情報……………6～8
- ☆善意銀行・表彰・相談事業・モニター……………9
- ☆福祉バザー・紅葉の宴・譲りあい感謝マーク 10



社会福祉法人
太子町社会福祉協議会

損保郡太子町老原102-1

TEL (079) 276-4111

FAX (079) 276-4169

ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~taishisw/>

メールアドレス taishi-sowel@beach.ocn.ne.jp



赤い羽根共同募金運動へのご支援ご協力ありがとうございました!



種 類	金 額	内 訳
戸別募金	3,859,860円	町内 8,117戸
街頭募金	42,649円	大型店等募金箱・街頭募金
法人募金	395,000円	町内外 91法人
職域募金	457,500円	役場・JA・消防署・学校・社協などの職員
学校募金	289,269円	保育所(園)・幼稚園・小中学校の児童・生徒・高校生
その他	704円	利息等
合 計	5,044,982円	



『自分の町を良くするしくみ』をメインテーマに10月1日より赤い羽根共同募金運動を実施し、自治会長、民生委員児童委員、民生協力委員の方々には多大なるご協力を、また町民をはじめ各企業、保育所(園)・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の皆様には温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた募金は一旦兵庫県共同募金会へ納入し、翌年度に地域福祉の向上のため県内民間福祉事業へ配分されます。

太子町社会福祉協議会では、給食サービスや移送サービスなどの在宅福祉事業やボランティア活動の推進など『みんなのまち太子町』の福祉推進の貴重な財源として活用させていただきます。

温かい年末年始をむかえていただくために… 歳末たすけあい募金にて次の事業を実施しています

社協歳末映画会

12月10日(土)、社協歳末映画会をあすかホール大ホールで開催しました。今年は『きな子～見習い警察犬の物語～』を午前、午後の2回上映し、530名の入場者があり大盛況でした。見習い警察犬と見習い訓練士、言葉は通じなくても「愛」と「希望」に満ちた心あたたまるストーリーで、あわただしい年末に「絆」を確認していただける物語でした。

年末ふれあい弁当を配食

毎年恒例の年末ふれあい弁当を今年度も12月28日(水)に実施します。社協の給食サービス利用者(町内のひとり暮らし高齢者や虚弱高齢者世帯対象のサービス)のうち希望される方73名に、料理ボランティア手作りの真心のこもった弁当を、町内の中学生ボランティアが笑顔を添えてお届けいたします。

クリスマスプレゼント事業

今年度も友愛訪問の一環として、町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者507名に、担当民生委員児童委員を通じてクリスマスプレゼントとして、高齢者の方に使いやすく配慮したデザインの平成24年版カレンダーをお届けしました。



平成二十四年 新年のごあいさつ

太子町社会福祉協議会 会長 久保田 文章

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より社会福祉協議会に對しまして温かいご支援とご協力を賜



わり心より感謝申し上げます。

さて昨年は、東日本大震災や台風により多くの国民にとつて多難な一年であったように思えます。そのような中で、災害ボランティアをはじめとする日本国民の共助の精神の高さに感動した年でもありました。幸いにも本町は災害の少ない地域であります。被災地ではいまだに多くの人々が仮設住宅での生活を余儀なくされ、大きな心の負担になっていると聞きます。人々が生活するうえで感じる心の安心は「地域の絆」がもたらしていることを今更ながらに痛感しております。

また、平成22年に実施された国勢調査の結果が発表され、太子町の人口におきましては三万三千四百八人と、兵庫県下12町の中で最も人口が多いまちとなり、さらに、若い世代の人口割合も増加して、若いまち、雄町太子として今後も躍進を続けてまいります。

しかしながら、個人の価値判断の多様化や生活様式の変化に伴って、地域社会における福祉力の低下が予想されるこの『少子超高齢化社会』の今、高齢者の割合の増加、高齢者の交通事故や福祉の問題など、解決しなければならぬ課題はたくさんあります。

町といたしまして本協議会と

『和のまち太子』 新しいスタートへ

太子町長 太子町社会福祉協議会顧問 首藤 正弘

皆様におかれましては、輝かしい新春を、皆様お揃いでお迎えになりましたこと、心からお慶び申し上げます。平素より社会福祉協議会には深いご理解と温かいご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。



さて、昨年を振り返りますと、3月11日に東北・関東地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災、9月に近畿地方を中心に被害をもたらした台風12号・15号など、大きな災害が連続して発生し、強大な自然の力の前に、私たち人間がいかに無力であるかを思い知らされました。しかしながら、日本国内はもとより、世界各地からの支援の広がり、は「人間の絆」を強く感じさせられるものでありました。

今後とも乗り越えるべき壁はたくさんあるとは思いますが、私たち国民が力を結集し、引き続き被災地の復旧・復興を応援したいと考えております。

また、平成22年に実施された国勢調査の結果が発表され、太子町の人口におきましては三万三千四百八人と、兵庫県下12町の中で最も人口が多いまちとなり、さらに、若い世代の人口割合も増加して、若いまち、雄町太子として今後も躍進を続けてまいります。

しかしながら、個人の価値判断の多様化や生活様式の変化に伴って、地域社会における福祉力の低下が予想されるこの『少子超高齢化社会』の今、高齢者の割合の増加、高齢者の交通事故や福祉の問題など、解決しなければならぬ課題はたくさんあります。

町といたしまして本協議会と

協働し、「元氣」と「誇り」があふれるまち、住民同士が「和」の精神でつながり、安心して暮らせるまち、そして皆様の笑顔が咲き誇るまち、「和のまち太子」をめざして、地域福祉の担い手である町民の皆様やボランティアの方々のご支援・ご協力を賜りながら、昨年に60周年という節目の年を迎えた太子町が新しくスタートを切れるような活気あるまちづくりに邁進してまいりますので、皆様のご指導とない層のご理解、ご協力をお願いいたします。平成24年の年頭のご挨拶といたします。





太子町婦人共励会です ～ 母子部の活動のお知らせ ～

「婦人共励会」とは、全国的な組織で、兵庫県内では、30市郡が集まって組織されており、母子家庭や寡婦が安心して暮らせる福祉社会の実現を目指して活動をしています。

太子町婦人共励会では、寡婦部と母子部とに分かれて活動を行っています。母子部とは、一番下のお子さんが18歳未満のシングルマザーの部会です。

11月20日(日)西播磨福祉地区「母と子のつどい」が開催され、太子町からも母子会員が参加。親子でみかん狩りを楽しみました。その後の昼食会では、他地区のシングルマザー達と交流を図り、いろいろな意見交換が図れたようです。

太子町婦人共励会母子部の活動としては、



- 1) 1月29日(日) 10:00～11:30
親子アロマハンドトリートメント体験
- 2) 3月…親子食育体験

を予定しています。町内にお住まいのシングルマザーであれば、どなたでも入会可能です。(年会費500円が必要です)
興味のある方、活動に参加したい、と思われる方は事務局(太子町社会福祉協議会内 ☎276-6632)まで、ご連絡下さい。



こんにちは!

No.64

太子町手をつなぐ親の会です!

今回は最近、親の会に入会された会員さんにペンをとっていただきました。

手をつなぐ親の会に入会して3ヶ月が過ぎました。息子は中度の知的障がい者で38歳になります。これまで親の会に縁がなかったのは、私がこの子の障がいを認めたくなかった。「きっと、この障がいは私の手で克服できる」と信じて疑わなかったことにあとを思います。

それなりに少しずつ成長してくれました。ところが大きくなるにつれ、様々な悩みが出てきました。もちろん、自分で勉強もしましたし、悩みを聞いてくれる友人もおります。でも、障がいをもつ子の親でないと理解してもらえない、本当のところ無理があります。

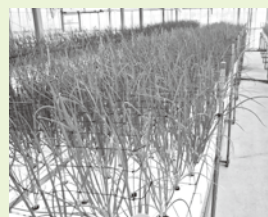
悩んでいた時に親の会の方に声をかけていただき相談したところ、その悩みが解決の方向に向かったのです。長年に亘る活動の中で培われたネットワークの広さに感嘆し、同じ悩みをもつ親達の絆の強さに驚きました。

もっと早くこの輪の中に入っておればよかったかも…とちょっと後悔もしています。これからは、息子のことで悩んだことが若い人に少しでも役に立つようにがんばっていきます。

太子町で育つ障がいのある子どもが、将来も希望をもってこの町で暮らしていけるように、私たち親の会は、いろいろな場で活動をしています。

11月10日(木)、第1回施設見学会を行いました。午前中に社会福祉法人あすかに伺い、園長のお話とともに入所施設と新しく新設された通所施設の見学をさせていただきました。午後は、たつの市にあるNPO法人GHOに伺い、ねぎの水耕栽培や給湯器の解体など、利用者さんが実際に作業されている所を見学させていただきました。どちらの見学も非常に勉強になり、有意義な一日となりました。

親の会では今後もこのような行事を行い、障がいのある子どもたちのために勉強していきたいと思っています。



住みよいまちとは…?

町内小学4年生福祉体験



いくつかの学校の児童は校外でも体験!



「よいしょ!」スロープも上手に登れました。



9月～11月にかけて、町内の各小学校で車いす体験の授業が行われました。社協も車いすを貸出しするとともに、職員が車いすの取り扱い説明をしたり、一緒にコースを回るなどしてお手伝いをしました。

体験した児童からは「思ったより力があるから大変だった」「歩道はガタガタしとって押しにくかった～」などちょっとした気づきもあったようです。

「みんなに優しいまちや地域って何だろう?」

社協では今後も福祉体験のお手伝いも続けながら共に考え、福祉の向上に取り組んでいきます。

跳び箱のジャンプ台で作った段差。普段は気にもならない少しの段差にも「上がらへん!」

マットを砂利道に想定し…「重い!!」



まずは取り扱い説明を聞く。



実際に車いすに触れ、開いたり閉じたり。



自治会や子供会、サロンなどでの車いす体験、福祉体験のご要望も遠慮なくご相談ください。

石巻市社協職員との再会 私たちはあの日を忘れない…。

11月20日(日)みきボランティアフェスタ2011のテーマ別の集いでパネリストとして参加されていた、石巻市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 大槻 英夫氏、災害復興支援対策課 阿部由紀氏と3月末に支援で石巻市に入ってから以来の再会を果たしました。

発災直後から災害ボランティアセンターの立上げ・運営の中核を担うスタッフとして奔走する阿部氏は「テレビや新聞では、被災地のつらい映像や話ばかりが流れているが、本当はみんな想像以上にとても強く前向きに生きている!そのことだけは今回伝えたかった。困った時は遠慮なくお願いをさせてもらう。今も、これからも忘れずに見守ってほしい」そんな言葉がとても印象的でした。

当時、混乱する石巻市で阿部氏がふと、つぶやいたもう一つの言葉にも教えられた。「みんなが僕を待っていてくれた。もっともっと早く、各地区に駆けつけて廻っておけばよかった。」普段から、地域や市民と繋がり、信頼されている職員ならではの正直な言葉だった。地域の皆さんと共に…。

太子町社協はあの日を忘れない。(竹内範斉)



ボランティア入門講座の開催！

年に一度開催する初心者向け「ボランティア講座」を今年も開催します。
定年を迎えて、そろそろ地域デビューを考えている方や子育てが一段落した方、是非この機会にご参加ください！

◎日時 平成24年2月1日(水) 10:00～11:30
◎場所 太子町保健福祉会館2階 会議室2
◎内容 「伝えたい!! ボランティアの楽しさ」
「ボランティア、なんでも相談!」
《パネリスト》

移送グループ(運転ボランティア)

代表 土岩 義明 氏

たけのこグループ石海小学校(学校支援ボランティア)代表 塚本 真理子氏

ぽぽたんグループ(まちの子育てひろばボランティア)代表 森本 朋子 氏

◎定員 一般 20名(先着順とさせていただきます)

◎申込み先 太子町社会福祉協議会

☎276-4111

太子町ボランティアセンター

☎276-6632

ボランティアを
はじめた
きっかけは?



どんな
ボランティアが
あるの?

男性と女性の
比率は?

定年してから
でもOK?



前回の様子

発達障がいを考えてみよう

～ みんなちがって、みんないい ～

前回大好評にて、終了した「知的障がい、発達障がいってなんだろう」の講座を今回は、「発達障がい」にしばって開催します。

「わがまま」「しつけがなっていない」と、一般的に親のせいとされがち「発達障がい」ですが、まだまだ誤解や偏見が多く、理解の輪が広がっているとは言えない状況です。

その生きづらさ、生活の困難さを専門家の方と一緒に考えてみませんか?

●開催日 平成24年1月24日(火) 10:00～11:30

●場所 太子町保健福祉会館2階 会議室2

●定員 20名

●講師

・障害者支援施設 愛心園

兵庫県西播磨圏域コーディネーター 中川 裕美子氏

・ひょうご発達障害者支援センタークローバー上郡ランチ 職員

・ボランティアグループはっぴい・クローバーの会 会員

●受付開始 1月5日(木) 9時～

●申し込み 太子町社会福祉協議会 ☎276-4111

太子町ボランティアセンター ☎276-6632

布の手作りおもちゃを貸し出しています。

ボランティアグループ「チャチャチャ」は、心や体にハンディを持ったこどもや高齢者の方々にも、安全かつ楽しく遊べるおもちゃを手作りしています。布製の的当てや、迫力満点の「赤鬼・青鬼」などは、ふれあいサロンでも大人気です。

製作した作品は貸出等も行っていますので、希望される方は、ボランティアセンターまでご連絡下さい。(☎276-6632)



★各種ボランティアグループに関するお申込み・お問合せ☆

太子町ボランティアセンター ☎276-6632 / Eメール taishi-shakyo@seagreen.ocn.ne.jp



「1.17ひょうごメモリアルウォーク」に参加しませんか?

毎年、1月17日は「ひょうご安全の日」です。「1.17は忘れない」を合言葉に、風化しがちな防災意識を新たにするため、震災時を思い起こしながら終点となる神戸東部新都心まで一緒に歩きませんか?

当日は、「人と防災未来館」が無料入館となり、防災に関する催し、東北物品販売などが開催されています。

◎日時 平成24年1月17日(火) 8:00～16:00(到着予定)

◎集合場所 太子町保健福祉会館 8:00集合出発

◎申込受付 1月5日(木) 9:00～

◎参加費 無料

◎持物 リュック、弁当、水筒

◎定員 20名(先着順となりますのでご了承ください)

◎申込先 太子町社会福祉協議会 ☎276-4111

太子町ボランティアセンター ☎276-6632



昨年の様子



(コース説明)

会館出発 8:00 神戸市立中央体育館出発(5キロコース) 10:00
会館到着 16:00 交流ひろば出発 14:00 神戸東部新都心交流ひろば見学 (「人と防災未来館」見学)

トライやるウィーク生が今年度も頑張りました!!

平成23年11月7日(月)より5日間、太子東中学校2名、太子西中学校2名の生徒が「ボランティアコーディネーター」を体験しました。

ボランティアコーディネーターとは、「市民のボランティアな活動を支援し、その実際の活動においてボランティアならではの力が発揮できるよう、市民と市民または組織をつないだり、組織内での調整を行うスタッフ」のことです。(参考:特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 ボランティアコーディネーター基本指針) 体験した生徒達は、様々なボランティアと交流し、その活動内容を壁新聞にまとめて来館者に紹介したり、太子町に必要なボランティアを養成するための講座を企画したりと、コーディネーターとしての仕事を毎日こなしました。

『紅葉の宴』(ひとり暮らし高齢者親睦交流会)では、社協職員として行事に参加し、参加者の配茶やイベント手伝いを積極的行いました。

中学生の作った壁新聞は、ボランティアセンターにて閲覧できますので、興味のある方は、職員までお声かけください。

この経験を将来の仕事に生かし、福祉の担い手として活躍されることを願っています。また、協力いただいたたくさんのボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。



『紅葉の宴』では和太鼓に飛び入り参加!

1月・2月の
ボランティアセンター
土曜開所について

1月21日(土)
2月18日(土) 9:00～12:00まで
お気軽にお立ち寄りください。





社協会員会費で
実施しています

社協心配ごと相談

相談は無料
秘密は守ります

心配ごと相談

《日時》毎月第2・4金曜日 13:30～16:00

1・2月の相談日は

1月13日(金) 2月10日(金)
27日(金) 24日(金)

障がい者相談 《日時》1月の相談日

- 心のケア相談………奇数月第3火曜日
1月17日(火) 13:30～15:30
- 身体障がい者(児)相談………奇数月第3水曜日
1月18日(水) 9:30～11:30
- 知的障がい者(児)相談………奇数月第3木曜日
1月19日(木) 9:30～11:30

☆開催場所はいずれも
太子町保健福祉会館 相談室2

☆秘密は守りますので、安心してご相談ください。

☆予約の必要はございませんが、先に相談者のある場合にはお待ちいただくことがあります。

読者モニターの
「ちょっとご意見」

前回の11月号についてのご意見は…

☆まちの子育てひろばで、こどものケガや発達内容について具体的な対処法やかかわり方を専門の方から学べるのはとても良い機会なので、また開催していただきたいと思いました。

☆「ボランティア情報」のページに対して、いろんな活動にボランティアのみなさんが参加されていることに驚きました。

☆「1.17」や「歳末」や「クリスマス」など、記事の中にあり、もうそんな時期か～と改めて思いました。

☆11月号は写真が少なかったように思う。

～貴重なご意見ありがとうございました。～

善意銀行からのお礼

10月・11月受付分 ～受付順・敬称略～

預 託

- 長澤雪美(中出) 亡夫 正晴 供養 100,000円
- 福田正文(糸井北) 亡父 政敏 供養 100,000円
- 願念美恵子(北之町) 亡夫 幸次 供養 100,000円
- 田中泰子(中出) 亡夫 田中末吉 供養 100,000円
- 故 田中典男(出屋敷) 100,000円
- 阿曾住みよい里づくり協議会 2,000円
- 東芝労働組合姫路支部 16,460円
(太子あすかふるさとまつりフリーマーケット売上)
- 太子ライオンズクラブ 20,000円
(あすかふるさとまつり「うどんの炊き出し」の売上金の一部)
- 太子高等学校同窓会 太翔会 5,232円
(太子あすかふるさとまつり収益金)

ありがとうございました。お寄せいただいたあたたかいお心は、有効に活用させていただきます。

払 出

- ひとり暮らし高齢者誕生日お祝い金
平成23年10月 41名………41,000円
平成23年11月 45名………45,000円
- 自治会ベンチ助成(東出ヶ丘)2台 48,300円

おめでとうございます

兵庫県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉事業功労者

11月5日(土)、西脇市民会館において第60回兵庫県社会福祉大会が開催され、永年にわたり社会福祉協議会の役員として、社会福祉の向上に努められた功績が認められ下記の方々が兵庫県社会福祉協議会会長表彰を受けられました。

社会福祉協議会 理事 富岡 末一 氏
社会福祉協議会 理事 鳥居 三恵 氏



まちの子育てひろば事業
イメージキャラクター

この事業は赤い羽根共同募金の配分金を利用して実施しています

～社協も支援します! 安心して子育てができる地域社会をめざして～

まちの子育てひろば

まちの子育てひろば ミニフェスティバル

まちの子育てひろばミニフェスティバルを今年も開催します。平日開催では味わえない、楽しい企画を用意しています。
普段「ひろば」に参加できない方も、この機会に是非ご参加ください!



☆ミニフェスティバル☆



(昨年の様子)

◎日 時 平成24年2月4日(土)
10:00～11:30

◎場 所 太子町保健福祉会館
1階保健指導室

◎内 容 講師によるドラム演奏披露と手作り楽器で音遊び♪
(本物のいろんな打楽器とふれあう時間もあります)

◎講 師 八木楽器姫路店・太子教室
ドラム・パーカッション
講師 山本 順久氏

◎対 象 おおむね1歳半～就学前の子と保護者

◎定 員 20組(先着順)

◎持 物 バケツ、布ガムテープ1巻き、水筒、汗ふきタオル

◎申込受付 平成24年1月6日(金)9:00～

◎申 込 み 太子町社会福祉協議会 ☎276-4111
太子町ボランティアセンター ☎276-6632

※メール・FAXでの申し込みはできません。
電話か直接来館してお申し込み下さい。

1・2月の ぱぱたんを紹介!

1月23日

親子で楽しむ 部屋遊び

時間/10:30～11:20

内容: 室内あそび
持物: 特になし



2月13日

子育てママの ゆっくりタイム

時間/10:30～11:20

内容: 当日までのお楽しみ
持物: 特になし

2月27日

親子で楽しむ 紙芝居

時間/10:30～11:20

内容: 紙芝居
持物: 特になし

☆☆ 太子町では、次のような所でひろばを開設しています。ぜひ、気軽にご参加ください ☆☆

施設名	名称など	開 設 日 時	電話番号	備 考	
児 童 館	幼児映画会	原則として 金曜日 1/13・20・27 2/10・17・24	10:30～11:30	277-3880	
	0～1歳児 ヨチヨチグループ	原則として 毎週火曜日 1/10・17・24・31 2/7・14・21・28	10:30～11:30		
のびすく	おひさま	不定期 1/12(木)・30(月) 2/9(木)・27(月)	10:30～11:30	277-3733	初回のみ300円 (保険料)必要
安養保育園	2～3歳児親子(園庭開放)	原則として 毎週土曜日 1/7・14・28 2/4・18	9:30～11:30	276-3680	(要)申し込み
二葉保育園	2～3歳児親子(園庭開放)	毎週土曜日 第3木曜日 1/14・19・21・28 2/4・16・18	9:30～11:30	277-0163	(要)申し込み
保健福祉会館	まちの保健室 西館1F 会議室1	毎月2回 月曜日 1/16 2/6・20	9:30～11:30	276-6630	
	社協「ぱぱたん」 東館2F 集会室	不定期 月曜日 1/23 2/13・27	10:30～11:20	276-6632	受付10:15から
	社協「たんぽぽ」	不定期 月曜日 お休み	10:30～11:30		

収益金は、地域福祉事業に使わせていただきます!!

福祉バザー開催

11月13日(日)、太子町保健福祉会館において恒例の福祉バザーを開催しました。当日は晴天に恵まれ、開場前より多くの人の列ができ大盛況でした。

本年度バザー品の提供をいただき、収集から搬入までご協力いただきました斑鳩校区・石海校区の自治会の皆様、多種多様な品物の仕分け・値付け・販売にご尽力いただいたボランティアの方々、当日購入いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。多くの方々のご協力により、無事バザーを終えることができました。本当にありがとうございました。

また、当日は東北復興物産コーナーにおいても多くの方々に品を購入していただきました。ありがとうございました。



東北復興物産コーナーでは太子西中学生が大きな声で呼びかけてくれました。

今回のバザー収益金 644,510円

紅葉の宴を開催

11月7日(月)、あすかホール中ホールにおいて、ひとり暮らし高齢者交流親睦会「紅葉の宴」を開催し、171名と多くの参加者がありました。午前の部では、子育て学習センター「のびすく」親子にかわいらしい手遊びや歌を披露していただき、最後に参加者も一緒になって「ふるさと」を口ずさみました。昼食の後は、「やよい」グループによる迫力ある和太鼓の演奏を聴き、希望者に実際に太鼓を叩いていただきました。つかの間でしたが、参加された皆さんは終始笑顔で、和やかな交流会となりました。



知ってる?このマーク



譲りあい感謝マーク

内部障害者や難病患者の方など、配慮が必要なことが外見からわかりにくい人がいます。

兵庫県では、譲りあい感謝マークをそうした方々が外出する際に身につけることによって、バスや電車での座席の譲りあいをはじめ、周囲の人びとが配慮を示しやすくするなど、障害や難病を抱える方々などの社会参加を応援し、みんなに優しい環境づくりを進めていこうというものです。